

史跡難波宮跡発掘調査（NW00 - 11次）現地説明会資料

平成12年11月5日（日）

大阪市教育委員会

財団法人 大阪市文化財協会

今回の調査地は難波宮跡公園の南端部やや東寄りに位置します。昭和29年以来、この公園の
一帯を中心に発掘調査が進められ、前後2時期の宮殿跡が見つかっています。その成果から、
調査地には飛鳥時代の前期難波宮朝堂院^{ぜんきなにわのみやちようどういん}の東・西第七堂の一部と、奈良時代の後期難波宮朝堂
院南門^{こうきなにわのみや}が存在すると推定されていました。今回の発掘調査はそれらの存在を確認し、正確な位
置や規模についての知見を得ることを主たる目的としています。

前期難波宮 朝堂院東・西第七堂

第七堂は朝堂院中央のもっとも南寄りに位置する東西に長い掘立柱建物で、東西にそれぞれ
1棟ずつ配置されています。今回見つかったのは、東第七堂の北西隅の柱穴1個、および西第
七堂の北東隅の柱穴4個です。柱穴の規模は一辺が約1.1mで、柱の太さは痕跡から直径40
cm前後と推定できます。朝堂院の中寄りに位置する第六堂・第七堂のうち、東西の第六堂と東
の第七堂の存在はすでに確認されていますが、西の第七堂は今回初めて確認することができま
した。

後期難波宮 朝堂院南門・南面回廊

朝堂院南門の北半部、および朝堂院南面回廊の一部を検出しました。南門は基壇^{きだん}の上に礎石
を据えた瓦葺きの建物と考えられていますが、後世の攪乱も多く、基壇の高まりは礎石ともど
もほとんど失われていました。ただ、基壇裾まわりの凝灰岩地覆石^{ぎようかいがんじふくいし}の抜取り痕跡や、解体時に
周囲に散乱したと思われる瓦の分布などから基壇のおおよその規模が推定できました。東西の
長さは約27mで、北辺には幅14m前後の階段の部分が1mほど出ているようです。現在さら
に詳しく検討している段階ですが、これは先に確認されている長岡宮^{ながおがきゆう}（784～794年）の同
門の規模と近く、後期難波宮の諸施設が長岡遷都に伴って移建されたという従来の説をあらた
めて証明することとなるでしょう。

朝堂院：古代の宮殿の中枢部を、一般に北から内裏、大極殿、朝堂院と呼ぶ。朝堂院は貴族や役人が参
集し、政務・儀式・饗宴が行なわれたところである。

長岡宮：現在の京都府向日市に所在。桓武天皇によって784（延暦3）年に遷都され、10年後に平安
宮に遷都するまで都が置かれた。これまでの発掘調査で、後期難波宮に用いられた軒瓦が長岡
宮でも多量に発見されたこと、また大極殿の規模が類似し、朝堂院の朝堂数が両宮とも8堂で
あることなどから、後期難波宮の中枢部の建物を長岡宮に移築したものであることがほぼ確実
視されている。

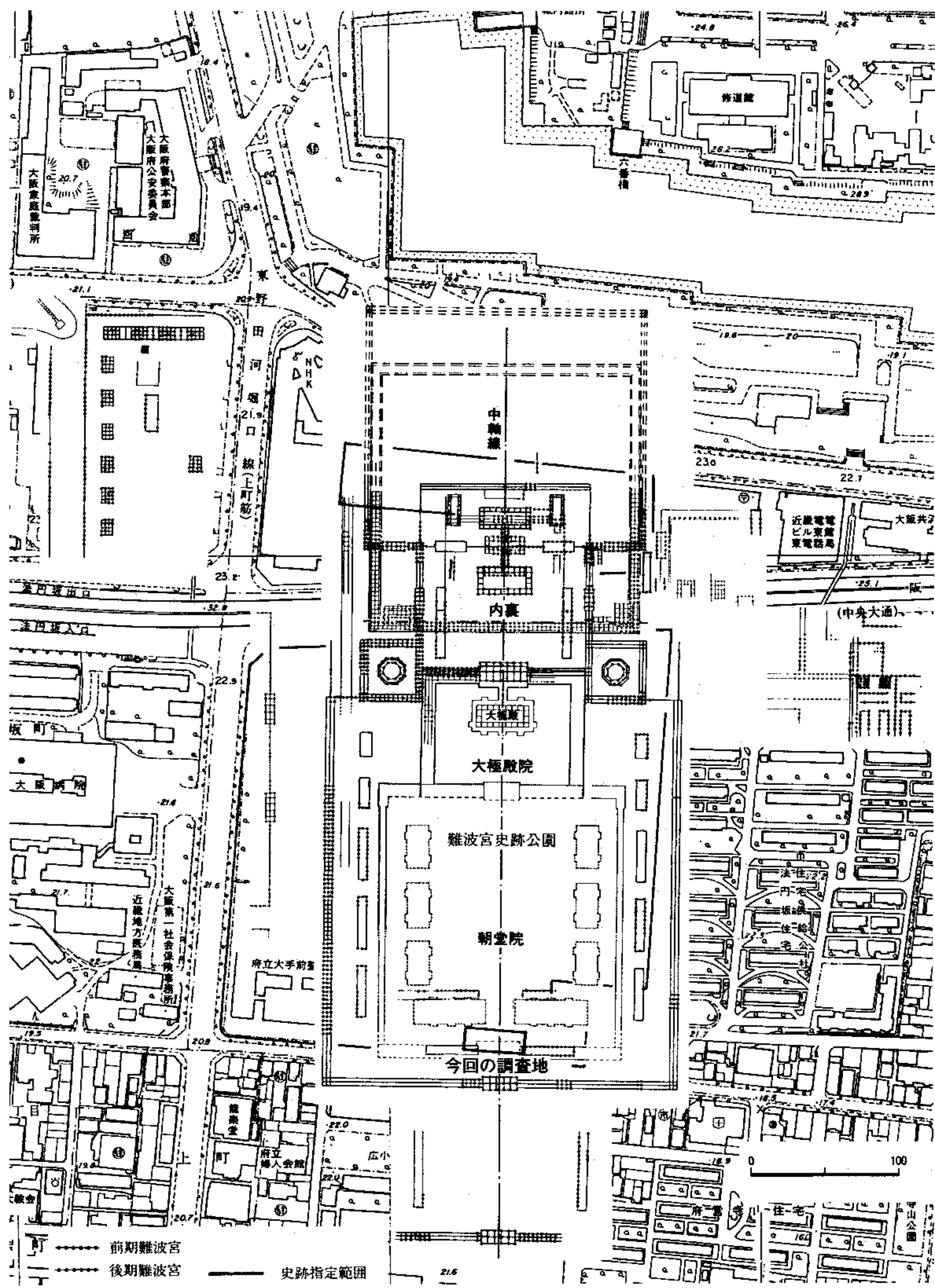


図1 調査地の位置

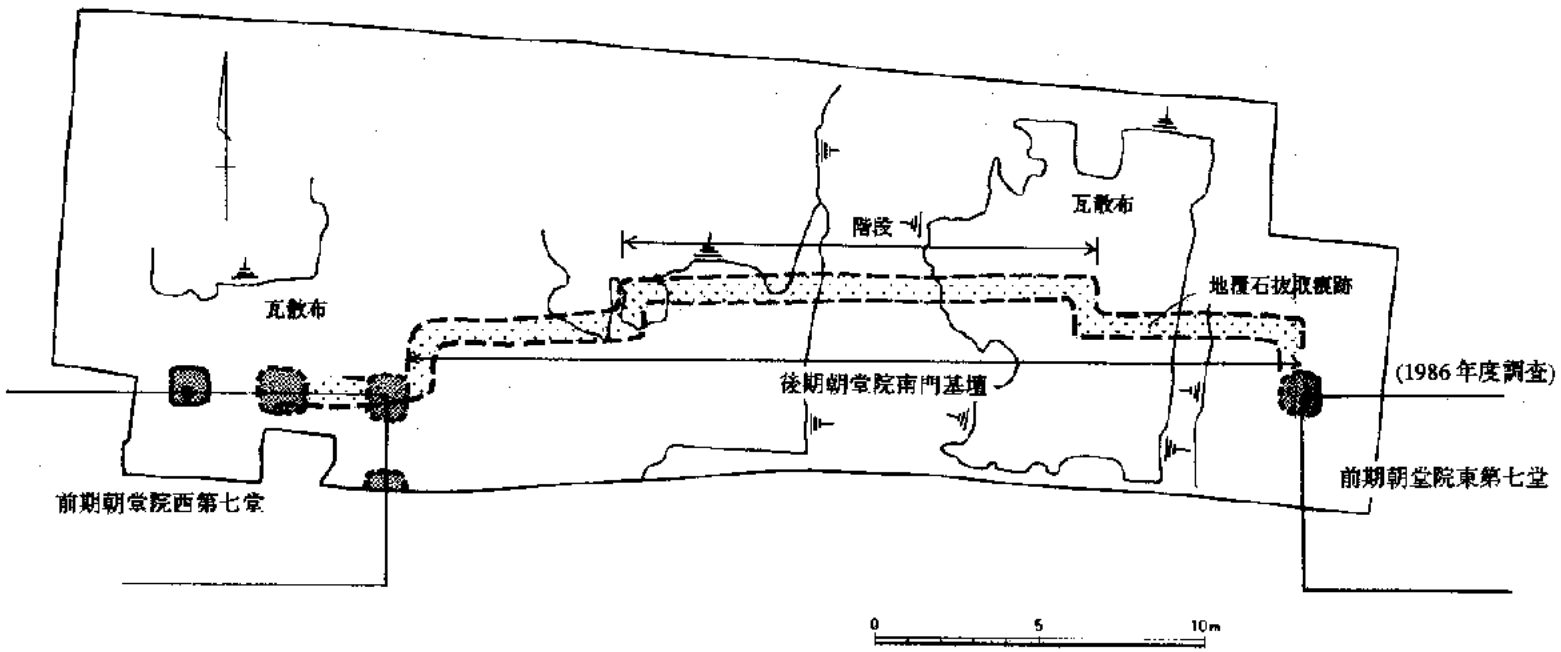


図2 見つかった遺構の概略図

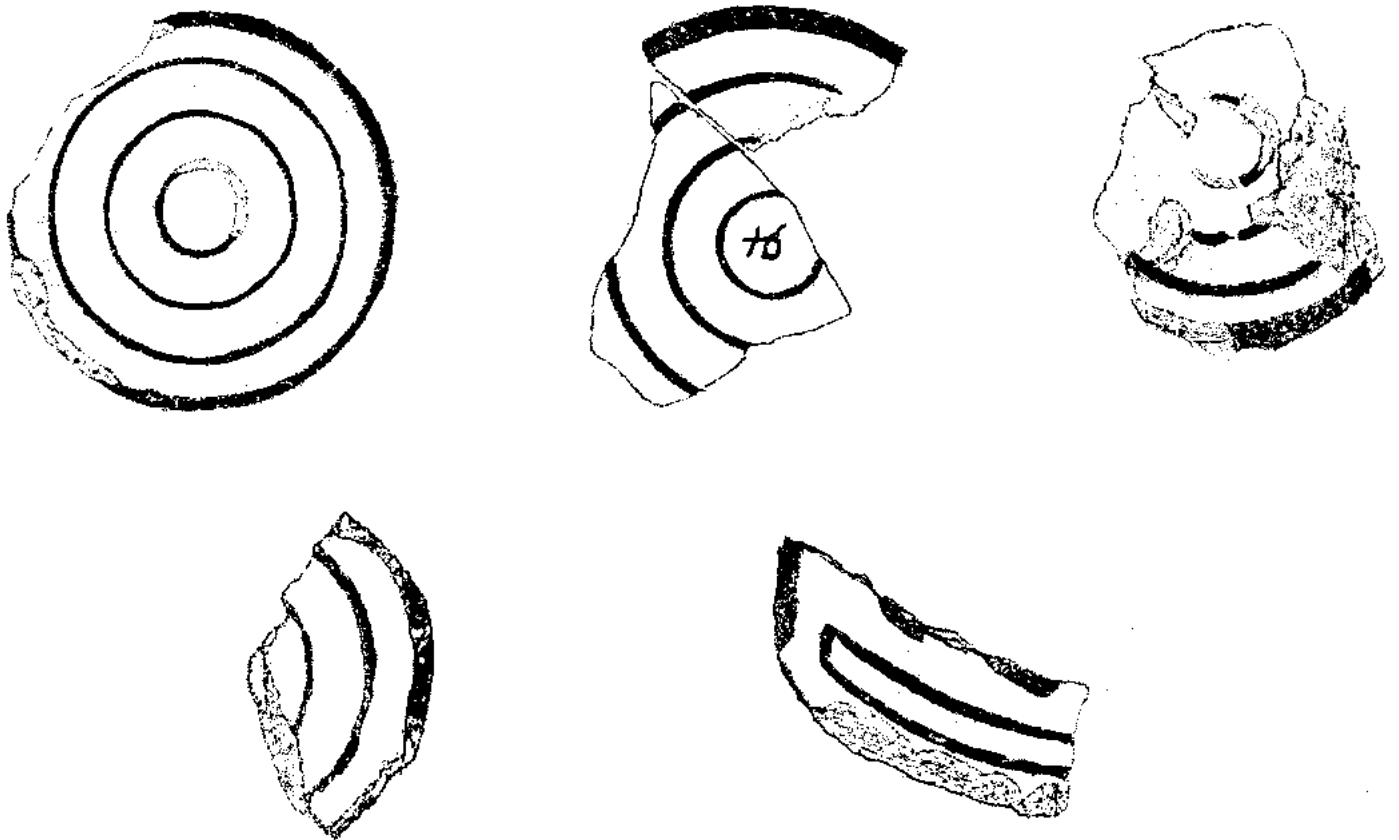


図3 出土した軒瓦の拓影（縮尺約1/3）

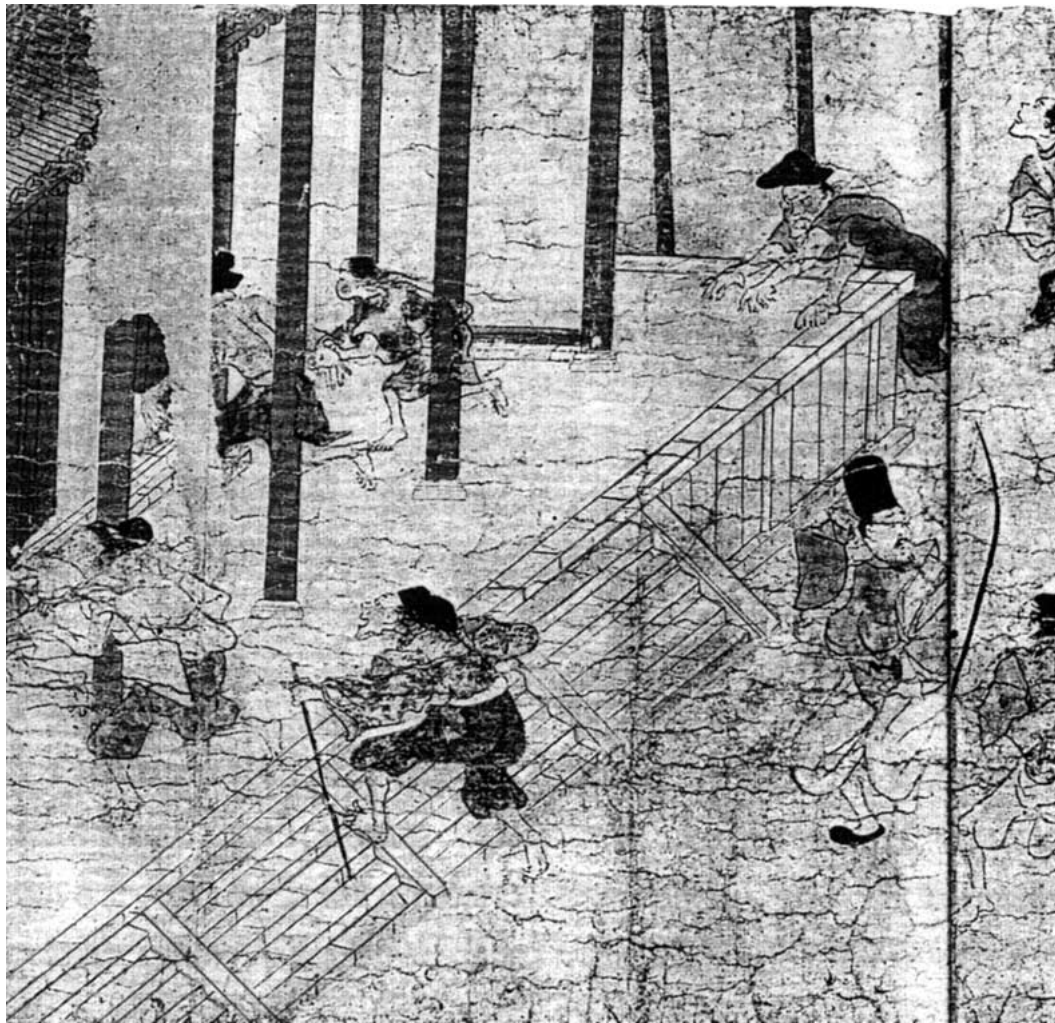


図4 絵巻にある門の基壇（平安京朱雀門、『伴大納言絵詞』日本の絵巻 中央公論社 より）

表1 難波宮関係略年表

| | | | |
|-------|--------------|---|---|
| 5世紀後半 | (応神) (仁徳) | 難波大隅宮に行幸 難波高津宮に都す 大倉庫群がつくられる 以後、難波は外交・西国経営の要地となり、大郡・小郡・三韓館・難波屯倉などがおかれた | 仏教公伝（538） 飛鳥寺建立（558） 四天王寺建立（593） 大化改新（645） |
| 645 | 大化 1 | 難波に都を移す この間、子代離宮・蝦蟇行宮・小郡宮・味経宮・大郡宮などの名がみえる | |
| 650 | 白雉 1 | 宮の堺の標を立てる（難波長柄豊碕宮の造営開始か） | |
| 652 | | 難波長柄豊碕宮が完成 | 近江大津京に遷都（667） |
| 679 | 天武 8 | 難波に羅城を築く | |
| 683 | | 複都制の詔 | |
| 686 | 朱鳥 1 | 難波大蔵（省）から失火、宮室全焼 その後も文武天皇（699・706）、元正天皇（717）、聖武天皇（725）などが難波宮に行幸した | 藤原京に遷都（694） 平城京に遷都（710） |
| 726 | 神亀 3 | 藤原宇合を知造難波宮事とする （後期難波宮の造営開始） | |
| 732 | 天平 4 | 宇合らにものを賜う（工事一段落か） | 恭仁京に遷都（740） 平城京に遷都（745） |
| 744 | | 難波宮を皇都と定む | |
| 756 | 天平勝宝 8 | 孝謙天皇、難波宮の東南新宮に御す | |
| 793 | 延暦 12 | 摂津職を改め摂津国とする この頃、難波宮廃止か | 長岡京に遷都（784） 平安京に遷都（794） |